

佐賀水歴史マップ

地域の水害に関連する歴史遺産、地名などの知見を発掘し地図上で重ねてみよう
UDC2021 アイデア部門エントリー作品 No. 100

チーム水歴史 (Code for Saga)
2022-03-12

風水害（台風や大雨）の記録

- 佐賀県は災害の中でも特に風水害の多い地域
- 佐賀市の鍋島地区では、鍋島小学校校区自治会が過去の水害記録をまとめた写真集を作成

佐賀新聞LIVE

佐賀 ▾

全国・世界 ▾

暮らし・文化 ▾

特集・連載 ▾

「28水」被害と復旧を一冊に 佐賀市鍋島の住民、写真集作成

公民館の資料活用、体験者証言も

2021/11/22



Q 拡大する

仮の堤防を築く作業をする大勢の人たち（昭和28年鍋島水害写真集から）

佐賀市鍋島の住民が、68年前に地域を襲った水害を記録した「昭和28年鍋島水害写真集」を作成した。「28水」と呼ばれる1953年6月の大水害で嘉瀬川堤防が決壊し、当時の佐賀郡鍋島村は約1カ月、浸水したままになった。この時の被害状況と復旧、復興の歩みを、写真や新旧の証言で振り返る1冊で、自然災害への不断の備えを呼び掛けている。



鍋島公民館には約190枚の写真が保管され、当時の村役場による水害日誌も残されていた。後世に語り継ぐと、公民館と、住民で組織する「鍋島まちづくり協議会」で写真集にまとめることを決め、2020年11月に編集委員会を立ち

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/772160>
「佐賀新聞」2021年11月22日

スマートフォンで水や地形情報を重ねて見比べたい

- 水害に関する石碑などの**文化遺産**の位置
- 水に関係ありそうな**地名**
- 整備前の**元々の地形**
- **ハザードマップ**

課題その1 過去のデータは簡単に入手しにくい

実際にデータを探すと...

- 自治体の報告書など過去の水害記録のほとんどは、**紙のまま**
- 水に関係ありそうな地名などは昔の地名から独自に調べる必要がある

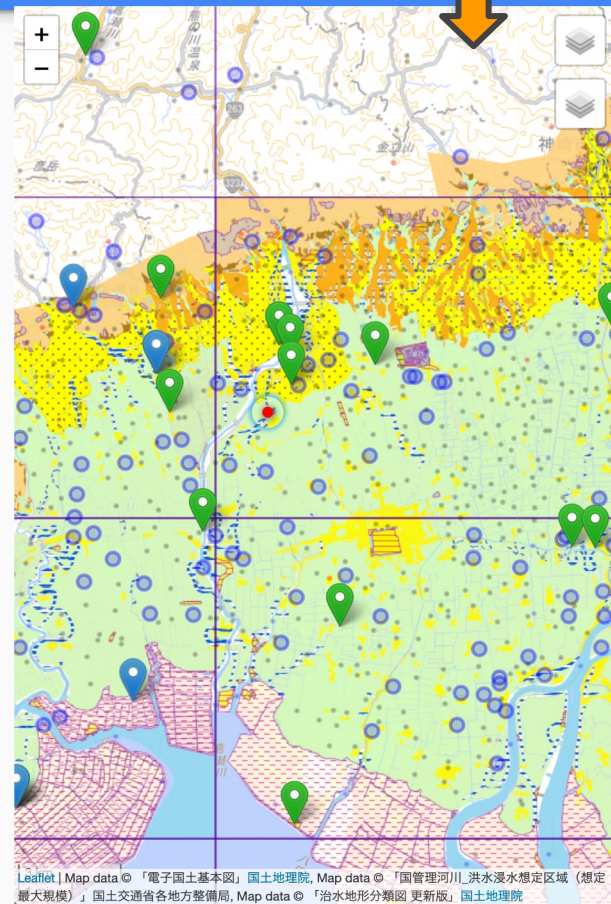
課題その2 有名地理情報入力・可視化サービスは正直敷居が高い

地理情報の可視化サービスは汎用的で高機能

- GISに慣れていない人には学習コストが高い
 - 飛び入りや軽い気持ちでデータ入力に
参加できない
 - グループで使い勝手や見せ方をカスタマイズしにくい

Webアプリ「佐賀水歴史マップ」を試作

- 古い資料から地理データをフォーム入力→**可視化**
- 国土地理院などが公開しているオープンデータ＋自分達で作ったデータを重ねる
→**データセット間で比較**



「佐賀水歴史マップ」の仕組み

操作画面

水歴史マップデータ入力 スプレッドシート 地図

33.24720851925102, 130.3 copy

1 km
5000 ft

Leaflet | Map data © 「電子国土基本図」 国土地理院

タイトル

緯度,経度 (地図をクリックしてコピー)

所在地

災害別

目的別

特記事項

出典
「佐賀県の災害歴史遺産」佐賀県防!

キーワード

入力者

入力フォーム

データ反映

Google Sheets APIで
Googleスプレッドシート
にデータを蓄積
Leafletで読み出し

DATA

データ蓄積

試作アプリを使って5-6名（飛び入り参加含む）で延べ1日で作業終了！

1. 佐賀県防災士会による
報告書「佐賀県の災害
歴史遺産」77件
2. 人文研
「歴史地名データ」
(全国の古い地名と位置情報)
→地名に水に関わる部首や
造りがあるレコード400件

番号	1	石丸久光翁殉職之碑
所在地	佐賀市鍋島町鮎久	
災害別	昭和28年水害	
目的別	顕彰	建立年 昭和29年5月
特記事項		



昭和28年6月の水害で当時鮎久区長として水防活動に従事中、堤防の決壊により殉職された石丸久光氏の殉職之碑が、嘉瀬川に架かる渡瀬橋の左岸側に建てられている。

碑文「翁は資性英邁剛健にして風教の淳化道義確立の爲率先垂範を重ね公の爲に私事を省みざる愛国の烈士たり。当村鮎久部落に生を享け幼にして軍人志し青島戦争日支事変に数々の武勲を樹て正五位勲三等陸軍大佐に任ぜられる。大東亜戦争終戦後は随時南滿洲自衛隊の日を送られしが昭和二十七年講和条約の締結により追放の東歸解くるや惟されて村教育委員長の変職につき教育行政に専心する傍有るを糾合して同志会鍋島支部の結成を図り又事務職員として部落民の興望に



国土地理院 電子国土Web

對へ郷黨の信望を一身に聚めたり。時恰も昭和二十八年六月二十六日前日米の暴雨により堤防決壊の危険を感じるや馳せつけし部落民と共に夜を徹しし防堵作業の督勵指導に当たりしが黎明時より狂気の如き疾風と車軸を流す如き猛雨の爲急激に増水し午前八時四十分遂に奔流は堤防の天端を流し濁水は地響きと共に其の中腹噴出決壊するに至り。作業員一同は危うく其の難を逃れたるも翁は鬱鬱として其の最後を見届くべく現場に踏み止まる中不運にも数分後百五十米の下落再び決壊し翁は寸断されし堤防上に取り残れ加ふるに狂奔せる激流は則ち其の足下を侵し風前の灯を思はれたるも救出の方途全くなし。斯かる絶対絶命の間従容として動ずる事無く静かに衣を棄て濁流に身を投じ脱出を図られしが翌朝は翁を一呑みし再び其の姿を見出す能はず六十七才を以て生涯の幕を閉じられたり。此の翁の心成や乙風船のそれにも比すべく鬼神機災異天動地するを感ず。茲に殉職の地を選び水魔の守護神として此の碑を建て且つは翁の口徳を永に表彰し之を後世に傳へんとす。」 昭和二十九年五月二十六日 鍋島村長 池田利夫



「佐賀県の災害歴史遺産」

作成したデータに重なるオープンデータ

1. 現在の地図：電子国土基本図
2. 浸水ハザードマップ
3. 整備前の地形：治水地形分類図
4. 水害関連の地物：自然災害伝承碑
5. 昔の地名：歴史地名データ

(データ引用元はGithubなどを参照ください)



図1

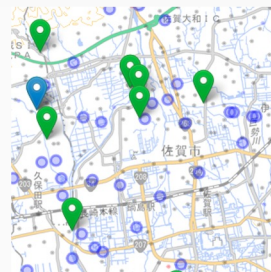


図2



図3



図6



図7

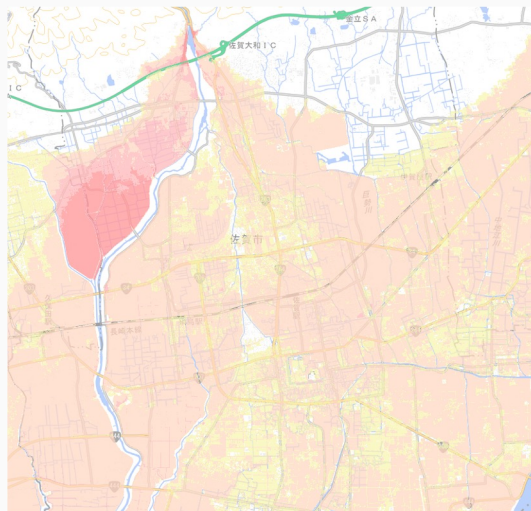


図4

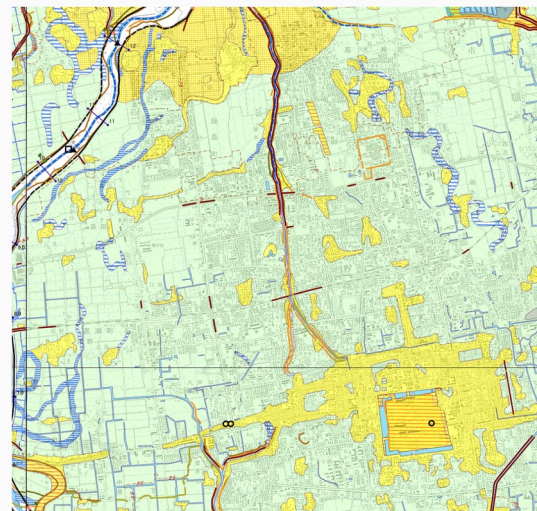
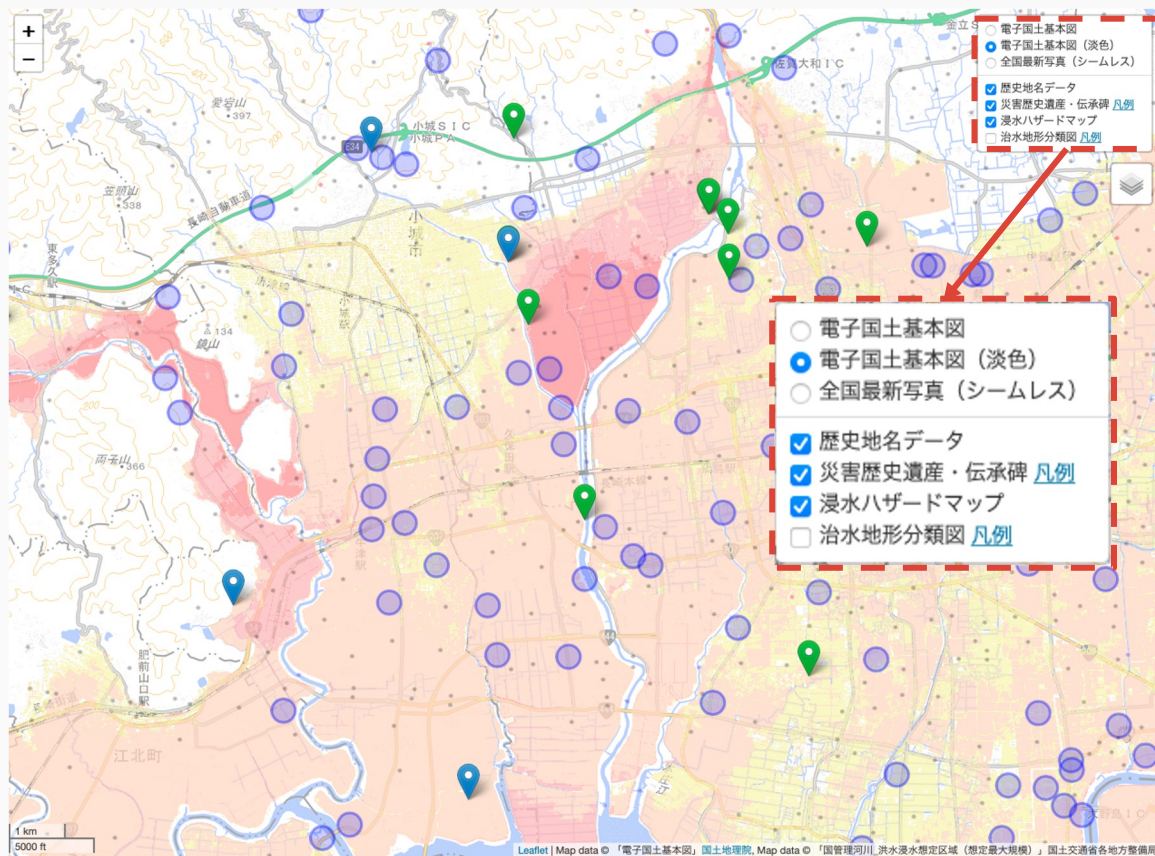


図5

まとめ1 佐賀水歴史マップの公開



公開した地図の外観
(画面右上のツールチップから選択)



まとめ2 Githubでソースコード公開

- 引用元を添えればどなたもプログラムをアレンジできます
- グループで簡単に緯度経度を含むデータを入力できるウェブアプリを作れます

<https://github.com/nikolito/saga-water-history>

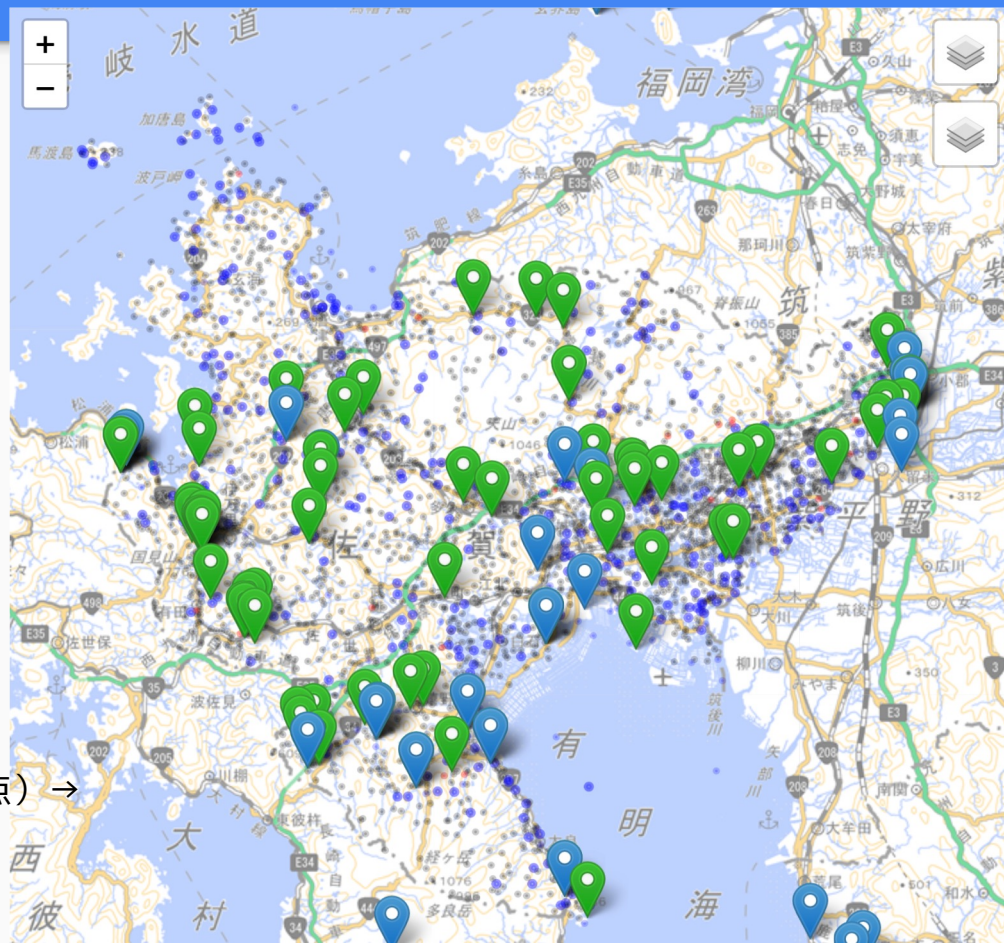


まとめ3 佐賀水歴史マップ

古い資料をまとめて
視覚的に表示できるような
Webアプリを作成した

過去と現在の災害状況を
比較することで、

- 都市開発前後の災害発生状況
 - 治水工事の経緯と効果
- などが可視化された



佐賀県の災害に関する史跡の分布状況（2022年1月時点）→

緑マーカー：佐賀県の災害歴史遺産のデータ

青マーカー：国土地理院の自然災害伝承碑のデータ